

# 後期高齢者医療制度を中止し、廃止を求める請願署名

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

政府は、75歳以上の高齢者を対象にした「後期高齢者医療制度」を08年4月から実施し、70～74歳の窓口負担も09年4月から2割に引き上げようとしています。新しい制度は、もっぱら医療費削減を目的にしたもので、高齢者に過酷な負担をおしつけ、医療内容を制限するものとなっています。

具体的には、①75歳以上の高齢者を国保や健保から追い出し、すべての高齢者から保険料(平均月額6200円、厚労省試算)をとりたてる、②受けられる医療を制限し差別する「別建て診療報酬」を設ける、③保険料は年金から天引きする、④保険料を払えない人からは保険証をとりあげ、医療を受けられなくする、などです。これまで保険料を負担していなかった扶養家族も、08年10月から徴収されます。

これにたいし、「まさに姥捨て山ではないか」の怒りの声が全国でまき起こり、地方議会でも中止や見直しの決議があいついでいます。

そもそも病気になりがちな高齢者の医療については、長年の社会貢献にふさわしく国と企業が十分な財政負担をおこない、高齢者が安心して医療を受けられるようにすべきです。このことはヨーロッパ諸国では常識であり、高齢者を別あつかいにして高負担と差別医療を押しつけている国はどこにもありません。

したがって、以下の点を強く求めるものです。

## 請願項目

- 一、後期高齢者医療制度については実施を中止し、廃止すること。
- 一、70～74歳の窓口負担2割への引き上げをやめること。

氏名	住所

取扱団体 ( )



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき 俊二

事務所 品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

2008年4月27日・5月4日 合併号 No.616

日本共産党品川区議団ホームページ http://www.jcp-shinagawa.com/



# 後期高齢者医療制度は廃止を

「長寿を喜べない…」 怒り爆発!!

福田首相や舛添要一厚生労働大臣は後期高齢者医療制度になるとほとんどの人は保険料が安くなるというが…

国保料(昨年度)  
月額 **5,850円**

後期高齢者医療保険料  
月額 **6,983円**

夫は年金月16万7千円、妻は基礎年金のみの夫婦世帯の場合では…



保険料はこれまでより月1,133円も値上げされます。年1万3千円余の増加です。

保険料は所得の少ない人が値上げ、年収400万円超は値下げされます。

品川区は7月から保険料を徴収しますが、年金天引きは10月からです。08年度は1年分を9回(7月～3月)で納付します。なお、一人ひとりの保険料額は7月中旬に通知されます。年金天引きは年金が月額1万5千円以上の方です。10月分から天引きになります。7・8・9月の3ヶ月分は振替などで納付することになります。また、年金が月額1万5千円未満の方と、後期高齢者医療保険料と介護保険料が年金の半額を超える方は天引きはせず、振替などで納付します。保険料を滞納すると保険証をもらえなくなるという、低所得の高齢者にとって過酷な制度です。

保険料き天引き  
品川区は  
10月から

自民・公明が導入を強行した「後期高齢者医療制度」が4月スタートしました。「年寄り早く死ぬというのか」―全国で怒りが爆発。署名運動もひろがっています(左)。日本共産党は野党共同で同制度の廃止法案を国会に提出しています。

